



6月に入り気温が上がってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

私事になりますが5月、6月と結婚式が続くため今回は**ジューンブライド**についてお話をしていきたいと思えます。

「**ジューンブライド (June bride)**」とは、古くからヨーロッパで「6月に結婚する花嫁は幸せになれる」とされる言い伝えのことになります。諸説はありますが、ギリシャ神話に登場する神主ゼウスの妃で、結婚や出産を司る女神「Juno (ジュノ)」が守護する月が6月 (June) であることから、この月に結婚をすると**生涯幸せに暮らせる**と言われてています。また、かつてヨーロッパでは、農作業の妨げとなることから3月～5月の結婚が禁じられていました。そのため、**結婚が解禁となる6月に結婚式を挙げるカップルが多くいた**と言われてています。

ジューンブライド (June bride) となる6月は、日本では梅雨の季節にあたりますが、海外ではハワイやヨーロッパを始め乾季に入っている国が多く、心地よい気候で結婚式が行える季節。特に**海外挙式**を考えているカップルにとっては、**最高のウエディングシーズン**と言えます。

次にジュンブライドにおすすめの花の種類・花言葉について、お話をしていきます。

1つ目は、**アジサイ**です。梅雨の時期に咲くアジサイ（紫陽花）は、ジュンブライドの花としてはもちろん、季節問わずウェディングにとっても人気がある花です。アジサイの花言葉は「**乙女の愛**」「**家族団らん**」「**辛抱強い愛**」です。

2つ目は、花畑としても、6月の花としても有名な**ラベンダー**です。花嫁のブーケ、会場装花、ウェディングケーキ装花にオススメです。ラベンダーの花言葉は「**優美**」「**幸せが来る**」「**あなたを待っています**」です。

3つ目は、「ユリの女王」と呼ばれ、純白の大輪の花を咲かせる**カサブランカ**。豪華に咲くカサブランカは結婚式に大活躍し、ジュンブライドの季節の結婚式にも人気の高い花となっています。カサブランカの花言葉は「**偉大**」「**威厳**」「**雄大な愛**」です。

簡単ではありますが、ジュンブライドについてお話をさせていただきました。結婚式で友人の幸せそうな表情を見ていると、私まで**幸せな気分**になってきますね。

